

**Microsoft® Windows10 における
弊社製品ご使用上の注意事項**

目次

1. はじめに.....	3
1-1 ご注意.....	3
1-2 アイコン表記について.....	3
2. ドライバ認証互換性問題について.....	4
2-1 ドライバ認証互換性問題の症状・確認方法.....	5
2-2 ドライバ認証互換性問題回避方法(セキュアブートの無効化).....	6
3. 高速スタートアップの無効化について.....	7
3-1 高速スタートアップの無効化設定手順.....	7
3-2 設定を保存せず高速スタートアップを無効化する.....	10
4. スリープモード/休止モードの無効化について.....	11
5. .NET Framework3.5(3.0/2.0)のインストールについて.....	14
5-1 ネットワークに接続せずにインストールする方法.....	15
6. Microsoft Edge について.....	19
6-1 InternetExplorer の起動方法.....	19
6-2 既定のアプリを Microsoft Edge から InternetExplorer に変更する.....	21
改訂履歴.....	24
お問い合わせ.....	25

1. はじめに

本書は Microsoft® Windows10 (32bit/64bit) 上で、弊社製品をご使用になる際の注意点を記載しております。
.NET Framework3.5 のインストール及び、Windows10 の設定変更を行わない場合、弊社製品が正常に動作しないことがあるため、各章の内容に従い設定の変更を行ってください。

なお、主な記載内容は以下の通りです。




- ・ [ドライバ認証互換性問題について](#)
- ・ [高速スタートアップの無効化について](#)
- ・ [スリープモード/休止モードの無効化について](#)
- ・ [.NET Framework3.5\(3.0/2.0\)のインストールについて](#)
- ・ [Microsoft Edge について](#)

1-1 ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・ 本書の内容は十分にチェックして作成しておりますが、万一誤りや記載漏れ等の不可解な点がありましたら、ご連絡下さい。
- ・ 本書にて記載する固有名称は各社の商標または登録商標です。
- ・ 本書にて記載する内容は、予告なく変更されることがあります。

1-2 アイコン表記について

このマニュアルでは、プログラミングのヒントやハードウェアを安全にお使いいただくために、以下のアイコン表記を使用しています。

アイコン	意味
	特に注意すべき点を説明します。
	ヒントになる点を説明します。
	注意しなければならない点を説明します。

2. ドライバ認証互換性問題について

弊社ボード製品において、Windows10 のバージョンにより正常に認識されない問題が確認されています。対象環境で弊社製品をご使用の場合 ([ドライバ認証互換性問題の症状・確認方法](#) 記載の現象が発生した場合)、後述する回避方法に従ってセキュアブートを無効化してご使用ください。互換性問題の対策版デバイスドライバは製品毎に順次リリース予定です。

以下に対象環境、回避方法を記します。

環境:

以下の条件を全て満たす環境にて現象が発生します。

- Windows10 Ver.1607(ビルド番号 14393 以降、通称 Anniversary Update)以降がインストールされた PC
- マザーボードが UEFI 対応かつ セキュアブート 設定が有効

以下互換性を示す表です。

表 1 互換表

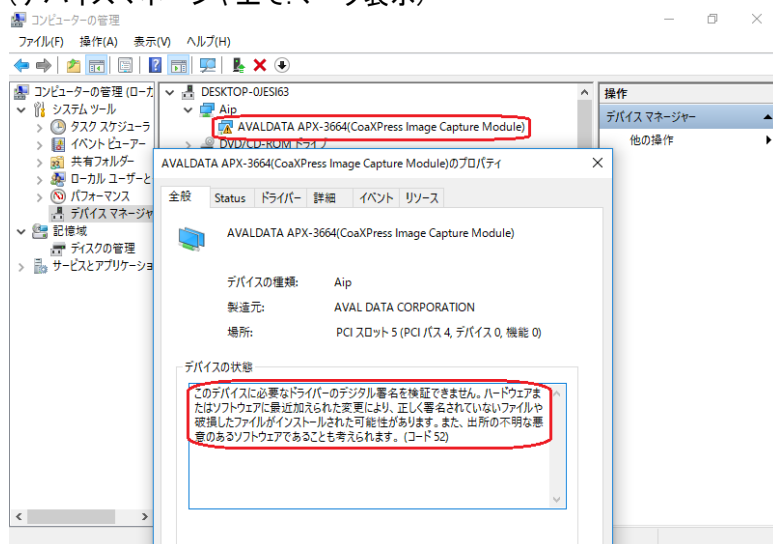
環境		Windows10 バージョン	
マザーボード	セキュアブート	Ver.1607 未満	Ver.1607 以降 *2016/08 リリース
	有効	対応	互換性無
UEFI	無効	対応	対応
BIOS	---	対応	対応

2-1 ドライバ認証互換性問題の症状・確認方法

下記に示す方法でドライバ認証互換性問題によるボード認識エラーの発生有無を確認可能です。

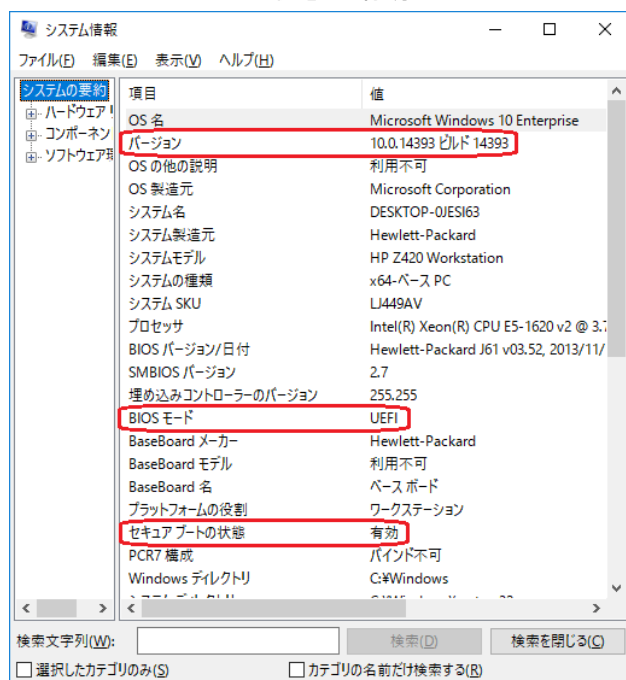
認識されない現象:

ドライバ認証エラーにより弊社製品が正常に認識・動作しない
(デバイスマネージャ上で!マーク表示)



Windows10 確認方法:

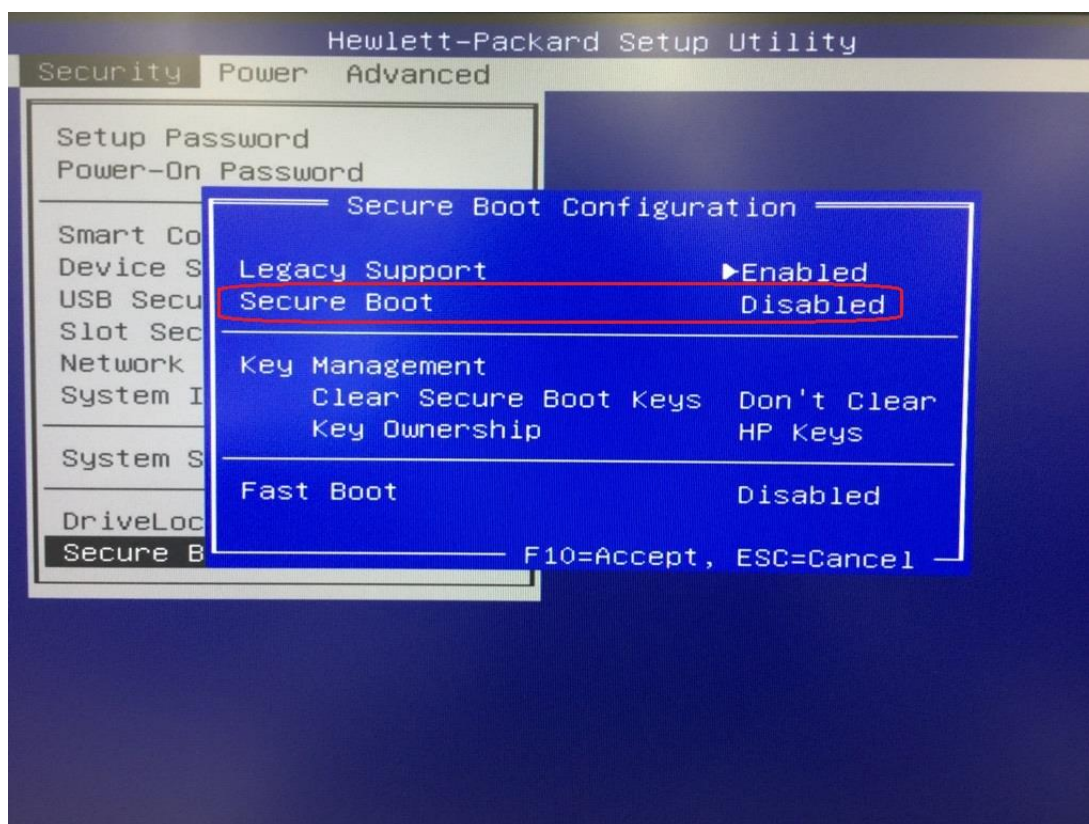
1. Windows10 の検索フォームに”msinfo32”を入力して実行
2. 表示される”システム情報”にて下記の情報を確認。
下記条件を満たした場合に、対象ドライバで現象が発生。
 - バージョン : 10.0.14393 ビルド 14393 以降
 - BIOS モード : UEFI
 - セキュアブートの状態 : 有効



2-2 ドライバ認証互換性問題回避方法(セキュアブートの無効化)

回避方法:

1. PC を再起動し BIOS(UEFI)の設定画面にする
※一般的に起動画面で F1,F2,F12,Esc,Del などのキーを押下
2. "Secure Boot"機能を無効化する
※マザーボード毎に設定箇所が異なる。通常は"Security", "Boot"などの項目内に存在。
以下は HP Z420 の場合の例。Secure Boot=Disabled に設定。
3. 上記確認方法で表示される"セキュアブートの状態"が"無効"になっていることを確認する
4. 変更を保存して終了。PC を再起動。



※セキュアブートの無効化手順について、Microsoft 社が下記 URL で公開しています。
<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/dn481258.aspx>

3. 高速スタートアップの無効化について

Windows10 の高速スタートアップは、PC の起動が早くなる機能です。

しかしこの機能を設定した状態で PC をシャットダウンし、ハードウェア構成の変更(※)などを行うと、次回起動時に不具合が発生する可能性があります。

※ハードウェア構成変更例

- ・ PCI Express スロットへのボード挿抜、差し替え
- ・ Windows Update による更新プログラムインストール など

これは、シャットダウン時にシステム情報をファイルに保存し、起動時にはそのシステム情報を使用して PC を再開していますが、シャットダウン時と起動時で整合性が取れなくなるとこのような現象が発生します。

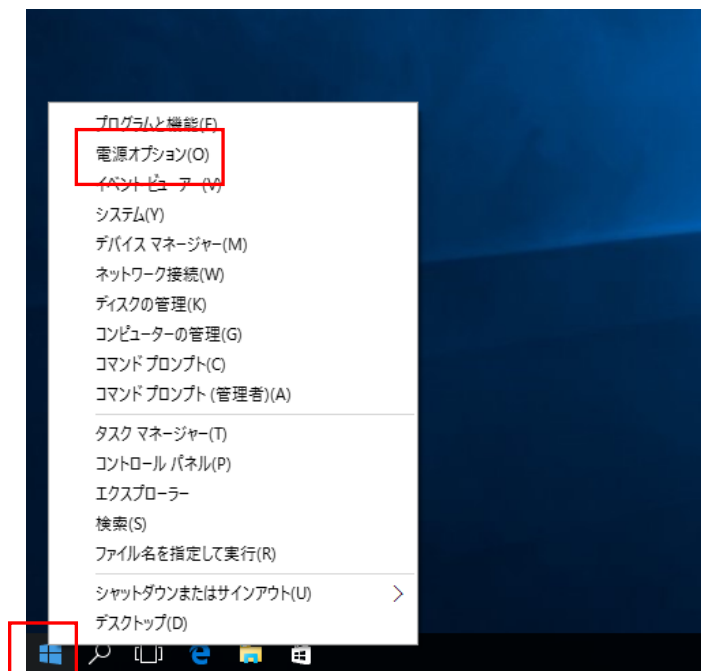
そのため、**ご利用の PC 上でハードウェア構成の変更を行う場合は必ずこの機能を無効に設定した状態でシャットダウンを行ってください。**

以下に「高速スタートアップ無効化」の手順を記載します。

3-1 高速スタートアップの無効化設定手順

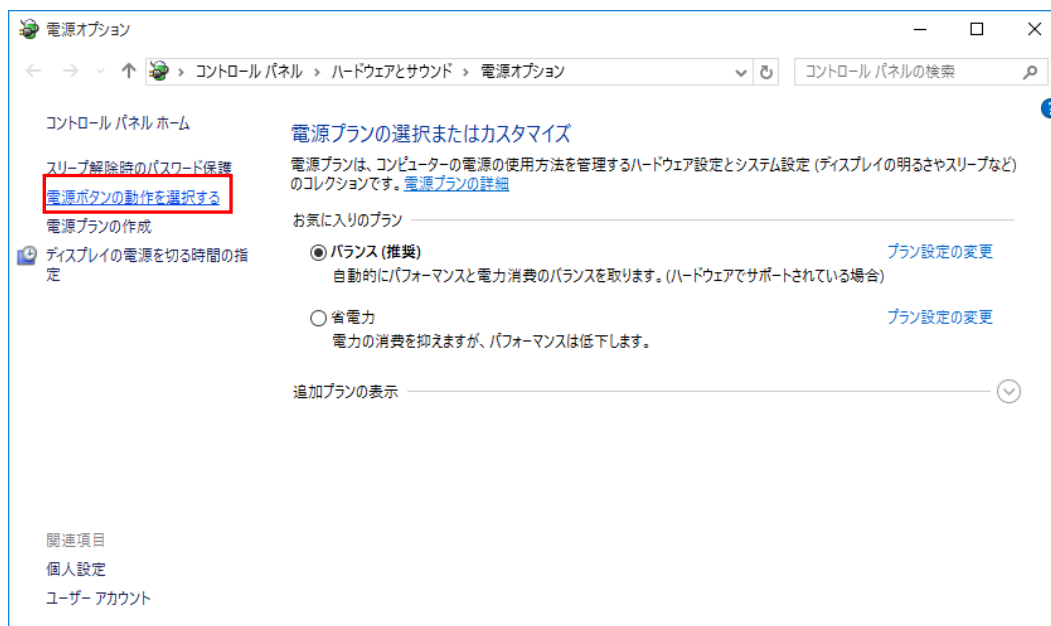
[手順 1]

スタートアイコンを右クリックし、クイックアクセスメニューを表示させ、「電源オプション」を選択します。



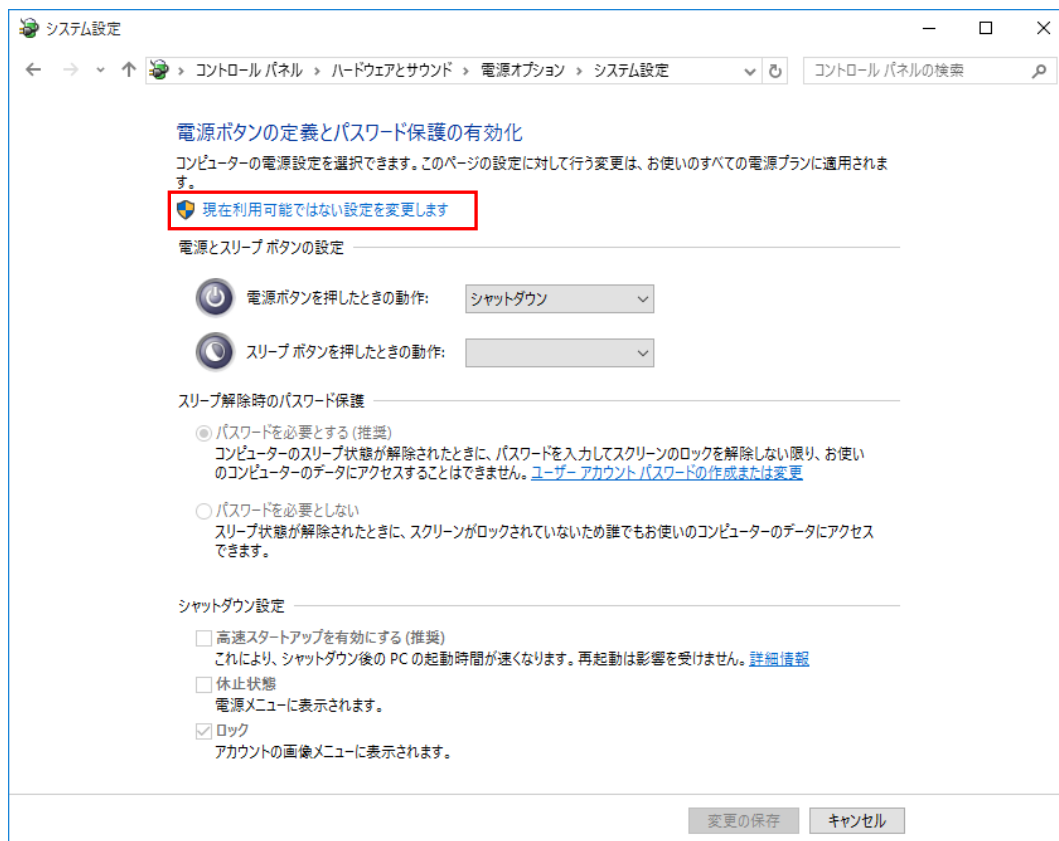
[手順 2]

「電源オプション」が表示されるので「電源ボタン動作の選択する」を選択します。



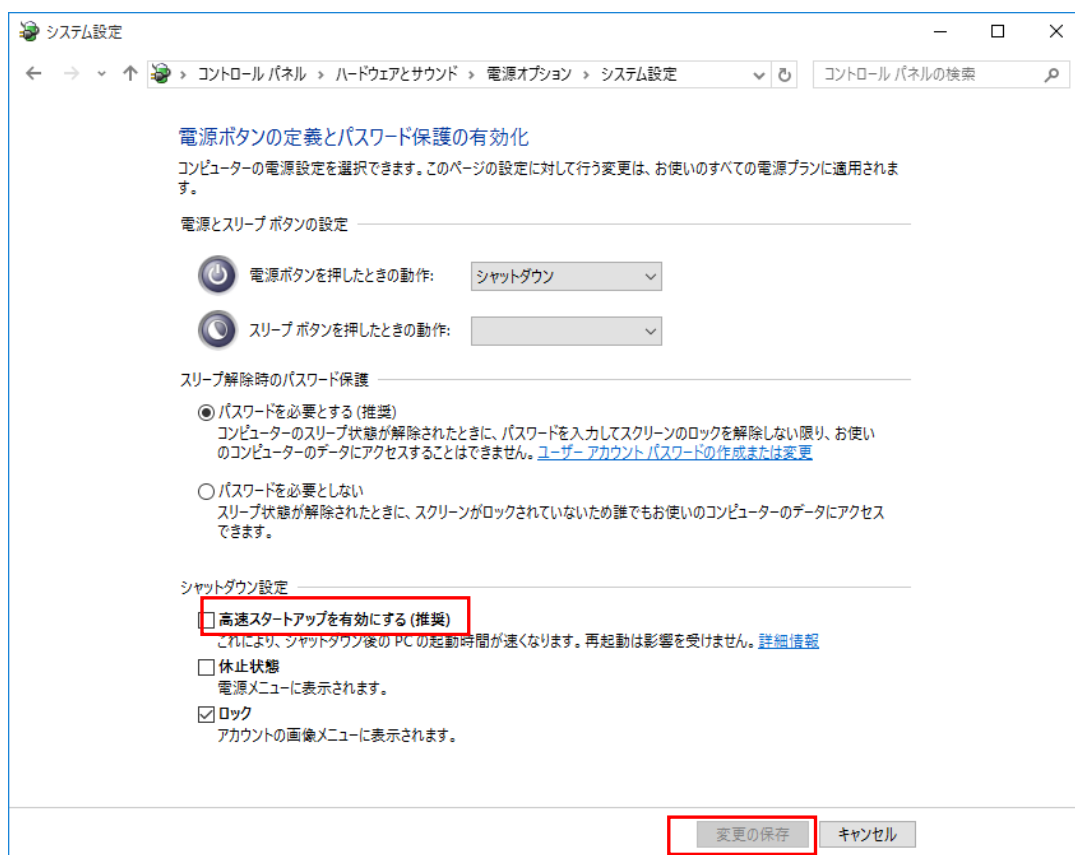
[手順 3]

「現在利用可能ではない設定を変更します」を選択します。



[手順 4]

「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して「変更の保存」を選択します。



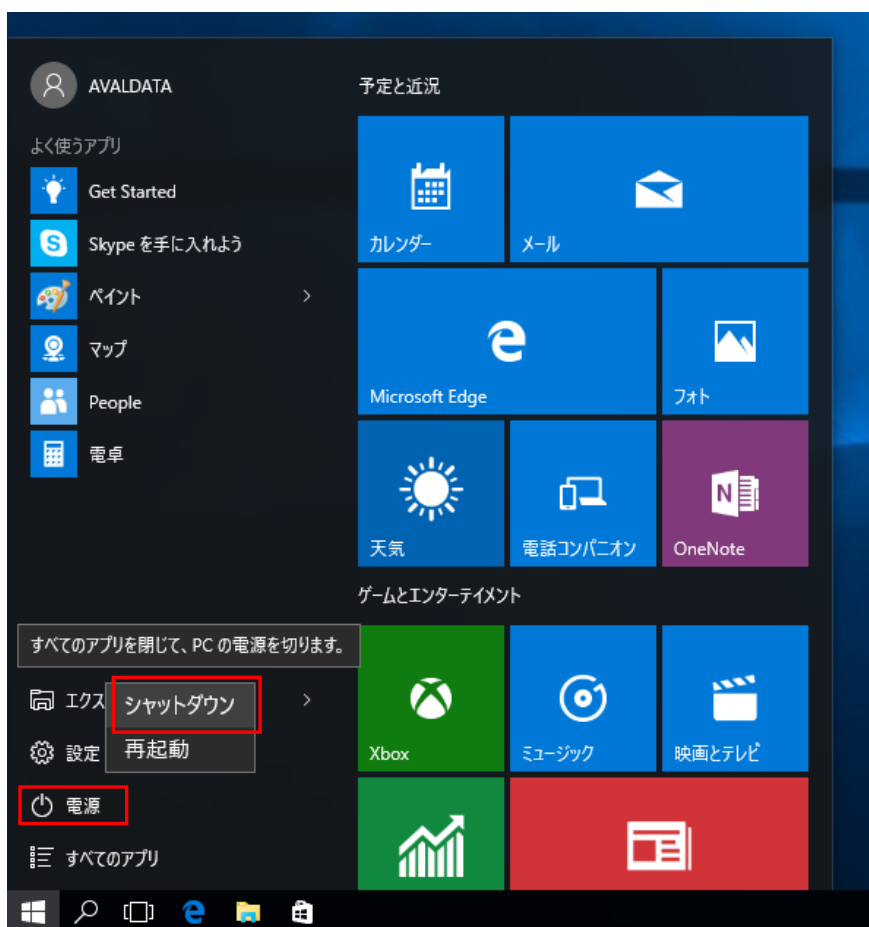
3-2 設定を保存せず高速スタートアップを無効化する

以下手順であれば、「高速スタートアップ」が有効に設定されている状態でも、高速スタートアップが無効にされた状態と同じように、シャットダウンを行うことが可能です。

[手順]

スタートアイコンをクリックし、「電源」を選択します。

次に **Shift** キーを押しながら「シャットダウン」を選択すると、高速スタートアップを一時的に無効にしたシャットダウンが行われます。



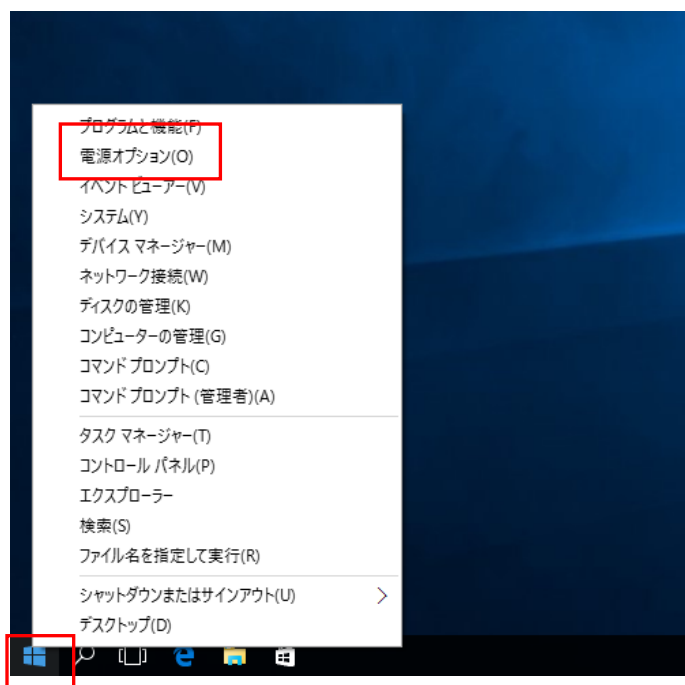
4. スリープモード/休止モードの無効化について

弊社製品をご使用中に PC がスリープモードまたは休止モードに入った場合、復帰以降が動作保証対象外となります。弊社製品をご使用になる際は**必ずスリープモード/休止モードの無効化設定を行うようにしてください。**

以下に設定手順を記載します。

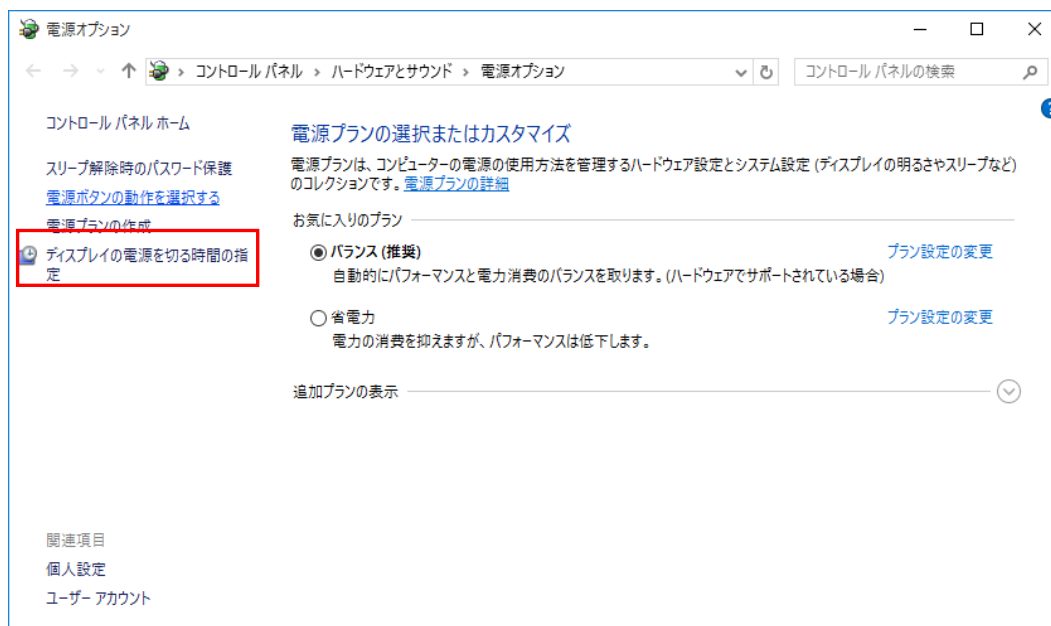
[手順 1]

スタートアイコンを右クリックし、クイックアクセスメニューを表示させ、「電源オプション」を選択します。



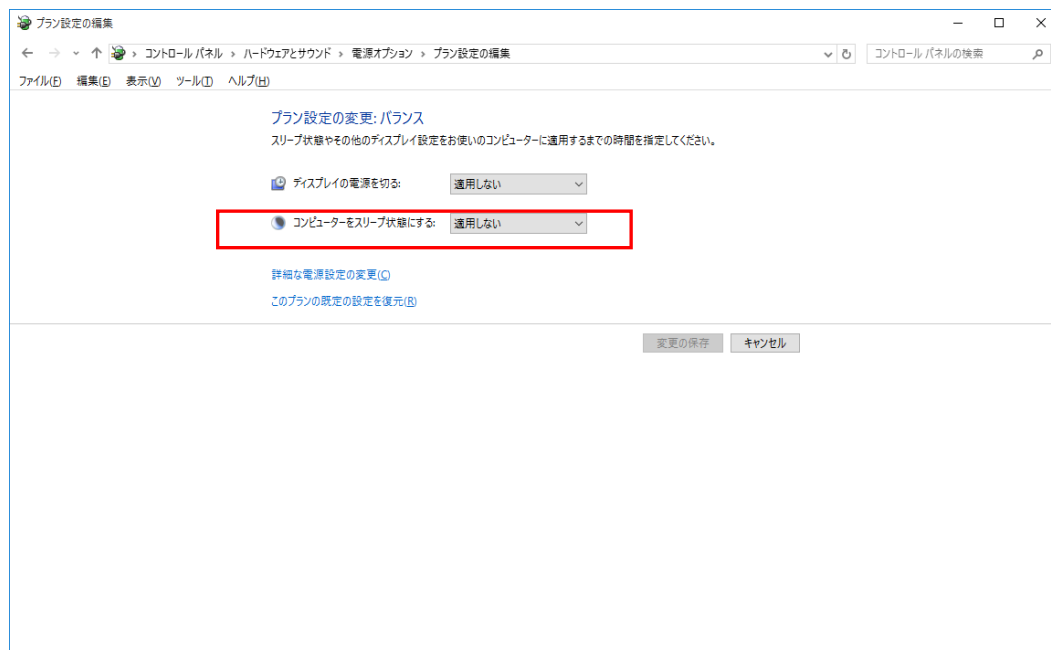
[手順 2]

「電源オプション」が表示されるので「ディスプレイの電源を切る時間の指定」をクリックします。



[手順 3]

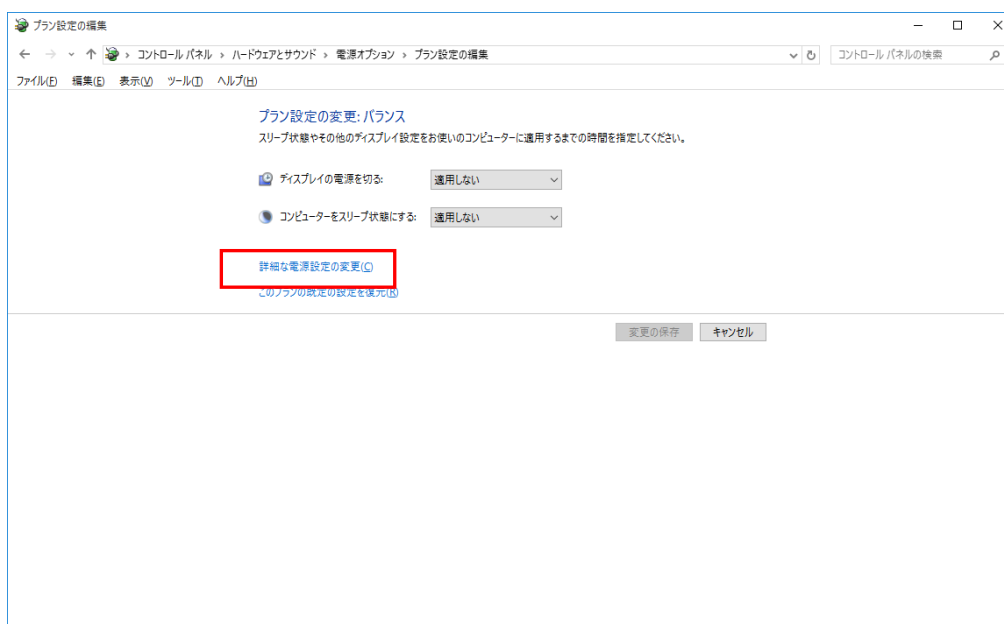
「プラン設定の編集」が表示されるので、「コンピューターをスリープ状態にする」のドロップダウンリストをクリックし「適用しない」を選択します。



ここまででスリープ状態の無効化が完了しました。
次に、休止状態の無効化を行います。

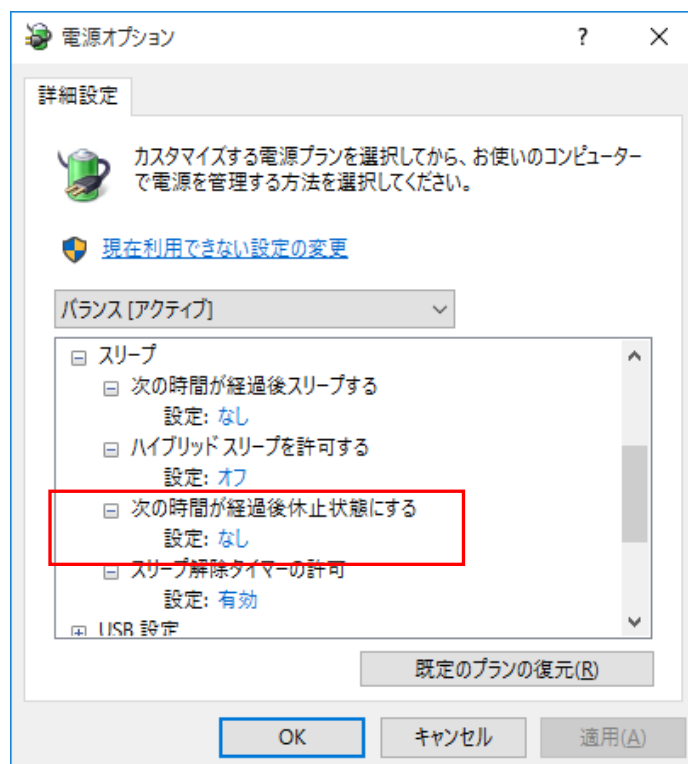
[手順 4]

「プラン設定の編集」画面の「詳細な電源設定の変更」をクリックします。



[手順 5]

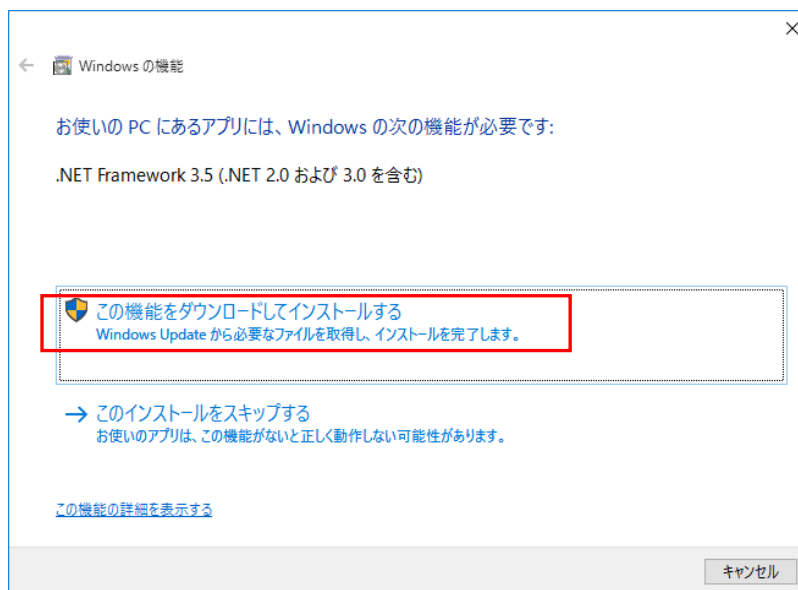
表示される項目の中から「スリープ」をクリックし、「次の時間が経過後休止状態にする」を「なし」に設定します。



以上で設定は終了です。

5. .NET Framework3.5(3.0/2.0)のインストールについて

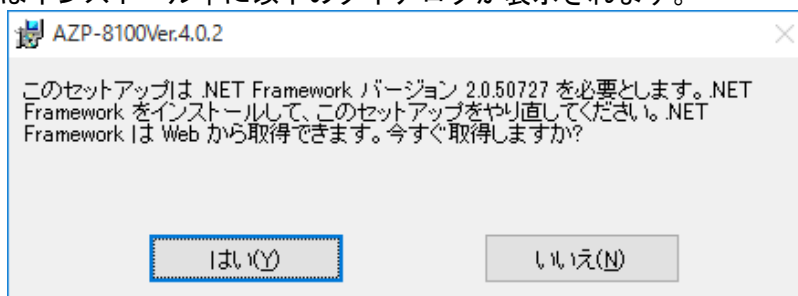
Windows10は「.NET Framework4.6」が標準でインストールされていますが、「.NET Framework3.5/3.0/2.0(以下、.NET Framework3.5)」がインストールされていません。そのため、「.NET Framework3.5」が必要なアプリケーションを起動した場合、以下のメッセージダイアログが表示されてしまい、アプリケーションを起動することができません。この問題を回避するためには、「.NET Framework3.5」をインストールして頂く必要があります。



上記メッセージが表示された場合、「この機能をダウンロードしてインストールする」を選択して、インストールを行ってください。(PCがネットワークに接続されている必要があります)

「この機能をダウンロードしてインストールする」を選択したら、以降は画面の指示に従いインストールを完了してください。

! 例：AZP-8100 はインストール中に以下のダイアログが表示されます。



5-1 ネットワークに接続せずにインストールする方法

ネットワークに接続されていない環境下にて、以下のメッセージが表示された場合の対処方法です。

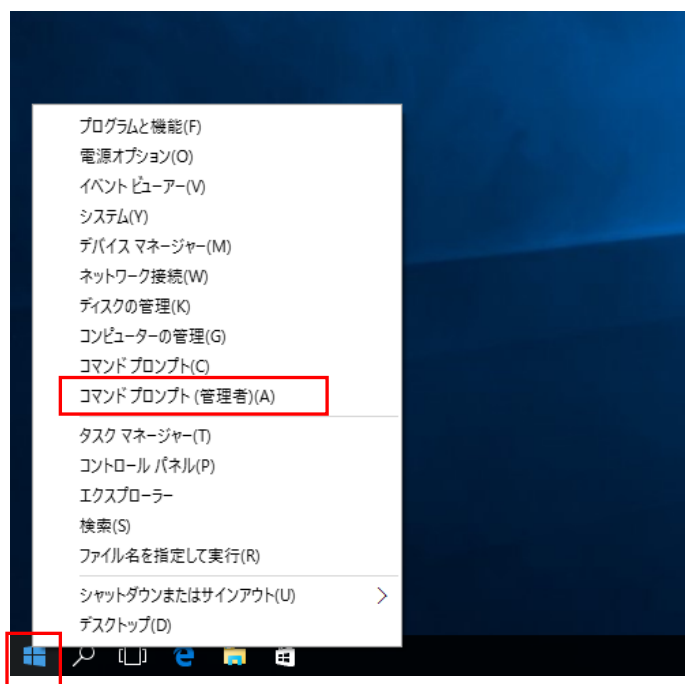


[手順 1]

Windows10 のメディアをドライブに入れます。

[手順 2]

スタートアイコンを右クリックし、クイックアクセスメニューを表示させ、「コマンドプロンプト(管理者)」を選択します。



[手順 3]

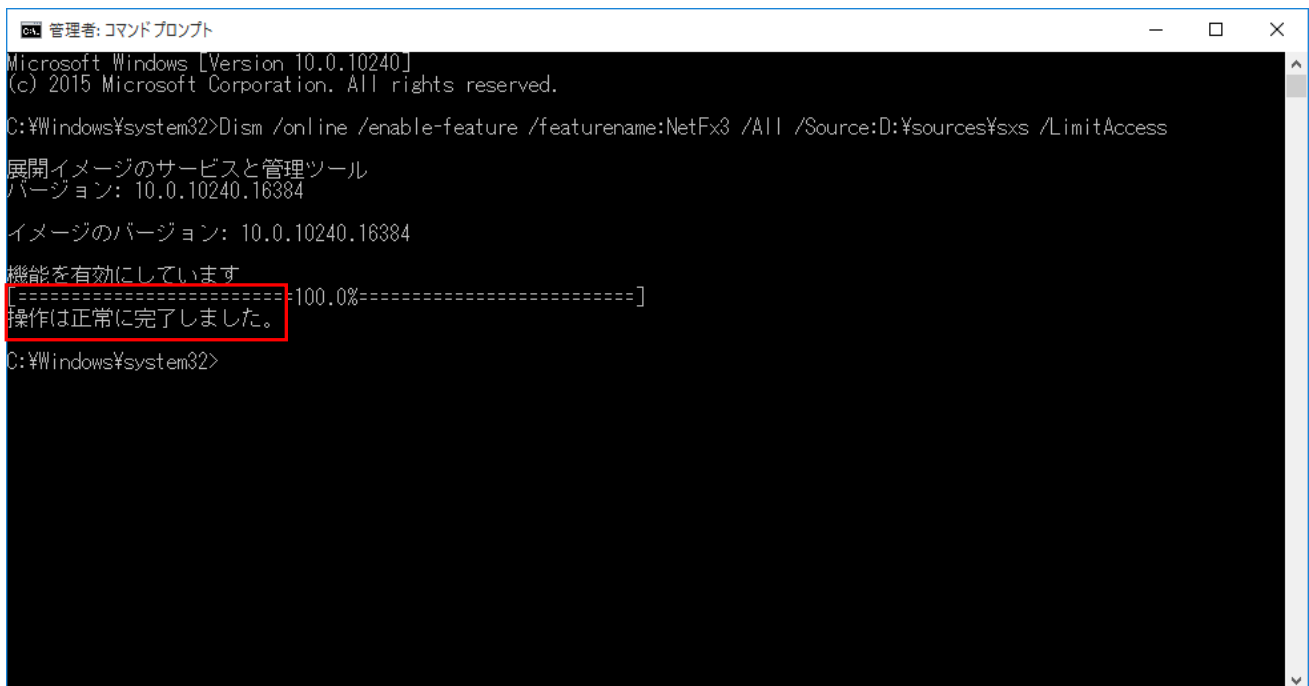
以下コマンドを入力します。

「Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:D:¥sources¥sxs /LimitAccess」

※ここでは D ドライブに Windows10 のメディアが挿入されているものとします。

[手順 4]

「操作は正常に完了しました」と表示されるとインストールは終了です。



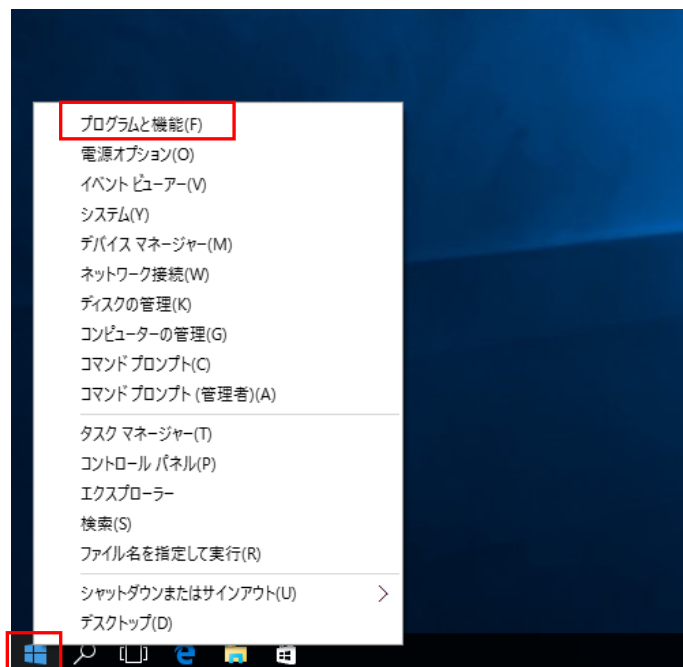
```
管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10240]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥system32>Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:D:¥sources¥sxs /LimitAccess
展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン: 10.0.10240.16384
イメージのバージョン: 10.0.10240.16384
機能を有効にしています
=====100.0%=====]
操作は正常に完了しました。
C:¥Windows¥system32>
```


[手順 5]

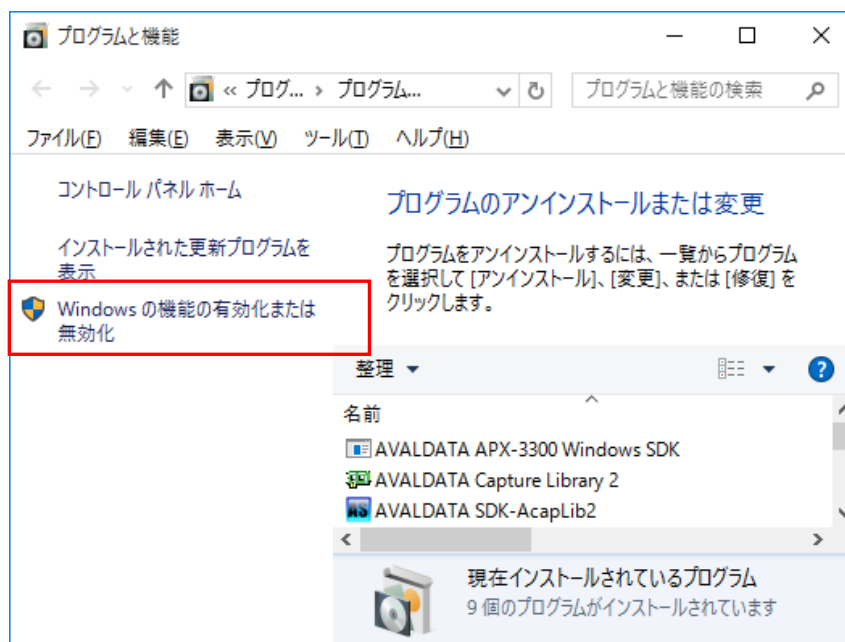
次に、NET Framework 3.5 の有効化設定がされていることを確認します。

スタートアイコンを右クリックし、クイックアクセスメニューを表示させ、「プログラムと機能」を選択します。



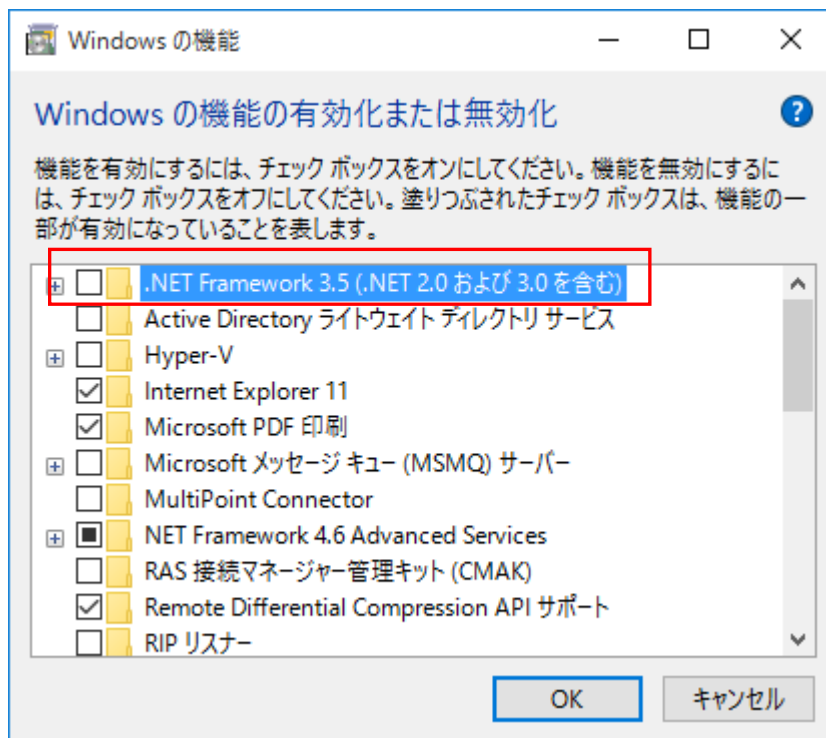
[手順 6]

「Windows の機能の有効化または無効化」を選択します。



[手順 7]

「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」のチェックが外れていたらチェックを入れ、OK を選択します。



以上で全ての操作が完了です。

6. Microsoft Edge について

Windows10 の標準ブラウザは、Internet Explorer から Microsoft Edge に変わりました。
しかし、このブラウザを使用して各製品の Web インストーラーを開くと、「AvalSetup.exe」等の実行ファイルや、エクスプローラーを起動することができません。
そのため、Internet Explorer を使用して「AvalSetup.exe」の実行、エクスプローラーの起動を行ってください。

以下に Internet Explorer の起動方法と、既定のアプリを Microsoft Edge から Internet Explorer に変更する方法について記載します。

6-1 Internet Explorer の起動方法

[手順 1]

各製品の Web インストーラーを起動します。

※ここでは、SDK-AcapLib2 の index.html を Microsoft Edge で開いた状態とします。



[手順 2]

画面右上の「…」をクリックし、「Internet Explorer で開く」を選択します。



[手順 3]

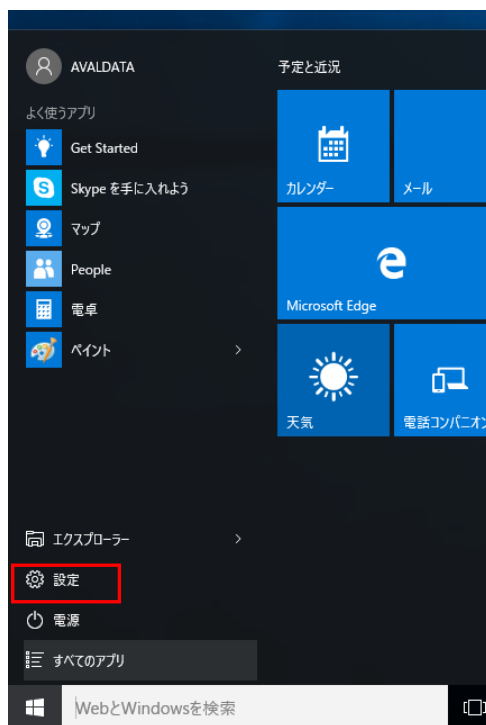
以下のように、Internet Explorer で各 Web インストーラーを開くことができます。



6-2 既定のアプリを Microsoft Edge から InternetExplorer に変更する

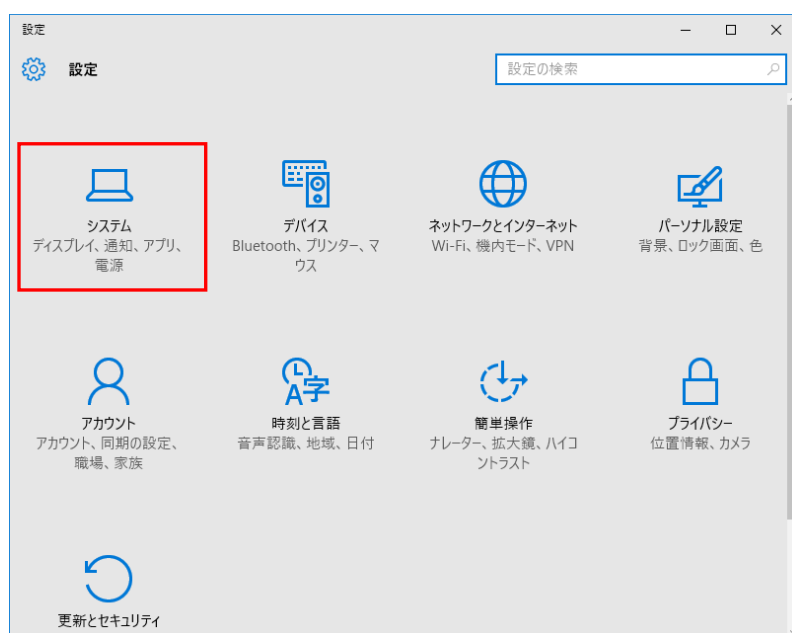
[手順 1]

スタートアイコンをクリックし、「設定」を選択します。



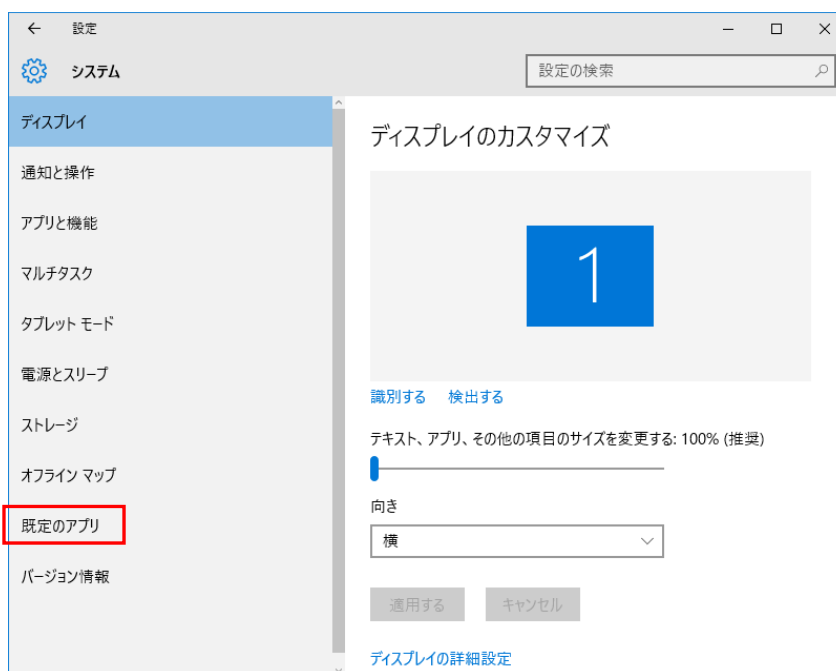
[手順 2]

「システム」を選択します。



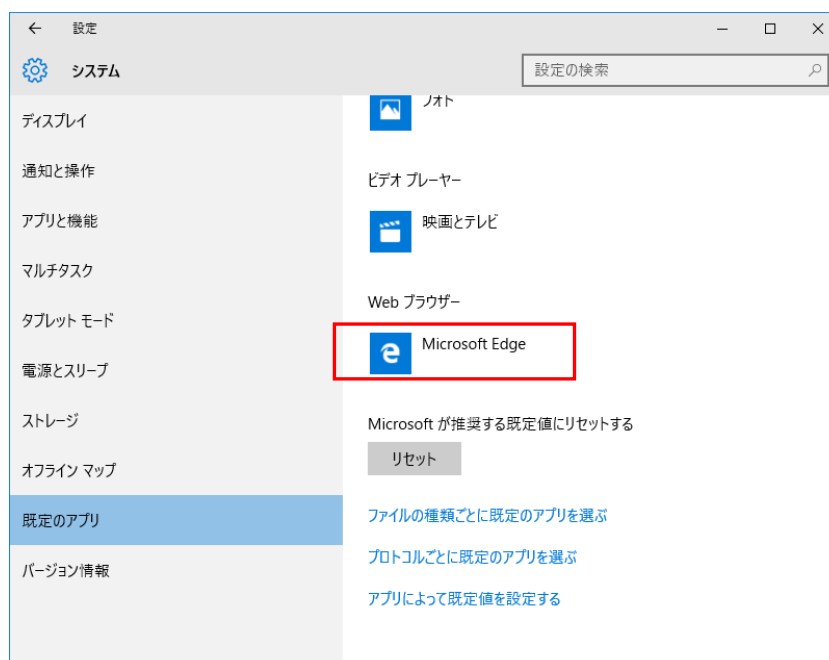
[手順 3]

「既定のアプリ」を選択します。



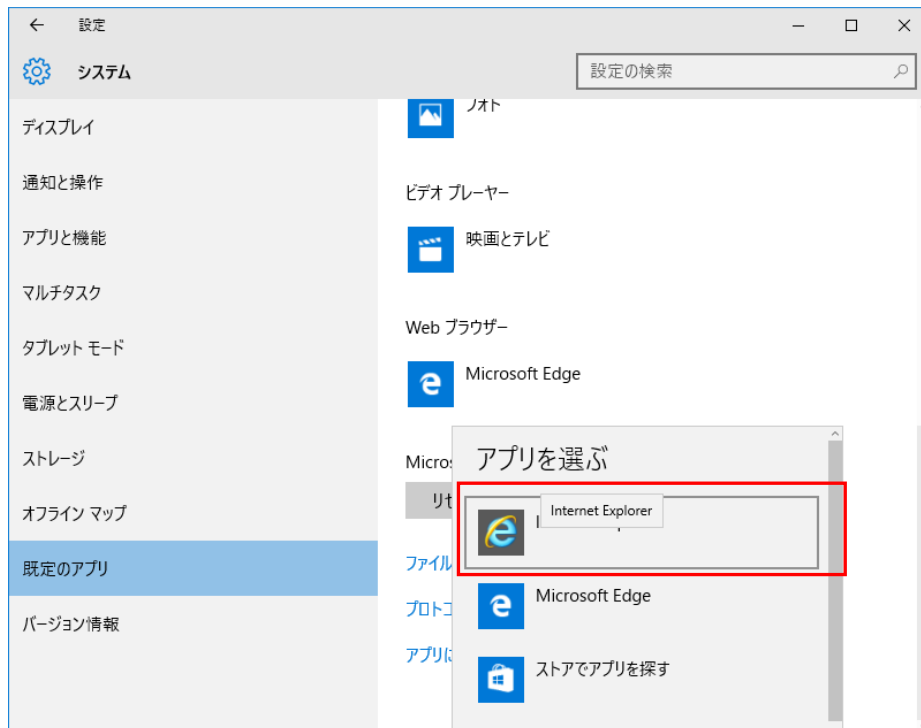
[手順 4]

Web ブラウザーの「Microsoft Edge」を選択します。



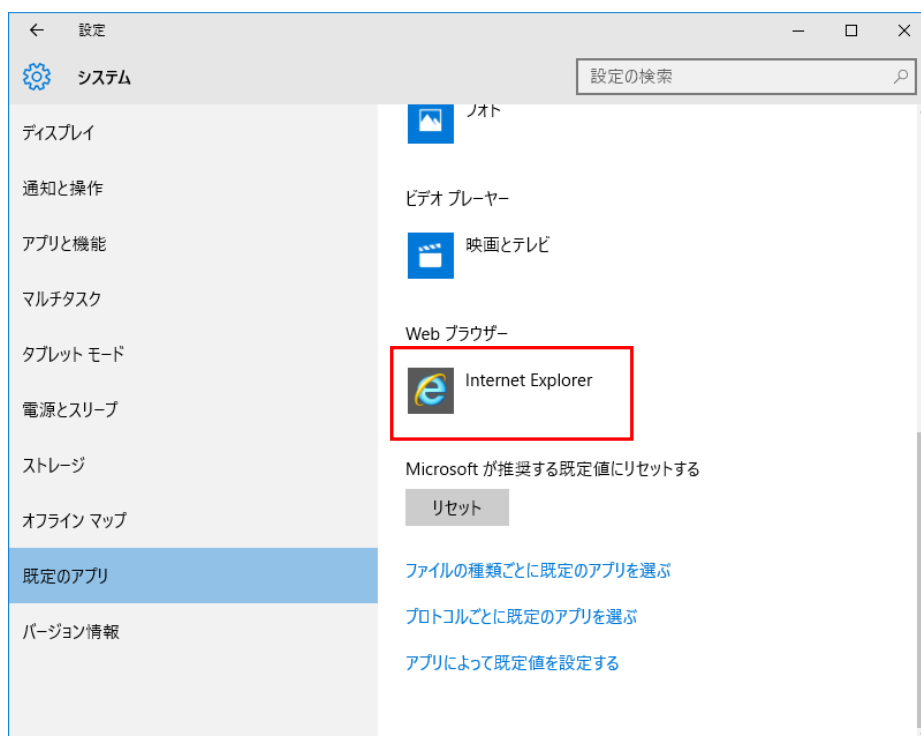
[手順 5]

既定のアプリが選択できますので、「Internet Explorer」を選択します。



[手順 6]

以下のように既定のアプリが Internet Explorer に変わります。



改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
A	2015.09.15	初版
B	2017.05.12	第二版 “ドライバ認証互換性問題について”を追記

お問い合わせ

お問い合わせは下記までお願いいたします。

AVAL DATA CORPORATION

本社 町田事業所 営業部 〒194-0023 東京都町田市旭町1丁目25番10号	 042-732-1030
	 042-732-1032

Q&A お問合せの前に Q&A をご確認ください		http://www.avaldata.co.jp/support/support_qanda.html
製品のご案内		http://www.avaldata.co.jp
価格・仕様などのお問い合わせ 製品の価格や基本的な仕様、在庫等、製品に関する一般的なご質問		sales@avaldata.co.jp
技術的なお問い合わせ ハードウェアやソフトウェア等、製品に関する技術的なご質問		http://www.avaldata.co.jp/address/support_tech.html
お問い合わせ受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く） / 9:00～17:00		

Windows10 における弊社製品ご使用上の注意事項

2015年9月15日 初版

OM15041B

編集 株式会社アバーलデータ
発行 株式会社アバーलデータ

Copyright© 2017 AVAL DATA CORPORATION